

山岳ぐんま

群馬県山岳連盟

発行人：吉田直人 / 編集人：根井康雄

〒371-0031 前橋市下小出町2-46-1 (小池寛喜方) tel 027-235-9247 E-mail: tomoyoshikoike3810@gmail.com



トッププロを囲む強化選手たち

top News

『プロコーチ指導事業がスタート』

世界へ羽ばたけ群馬から

2029年の群馬国体に向けて、今年度から、ジュニア育成事業として、「プロコーチ指導事業」がスタートしました。これは、全国大会や世界大会における実績のある、トップレベルの「プロコーチ」を招聘し、ジュニア強化選手などを対象に強化練習会や合宿などにおいて、技術指導を行っていただくもので、群馬県山岳連盟もこの事業に参加できることになりました。

まず4月からプロコーチ選定を開始しました。思い切って「トッププロコーチ」にお願いしてみようと、元群馬県代表の北村啓祐さんからのご紹介で、伊東秀和さ

んに打診したところ、快くお引き受け頂きました。

伊東さんは東京オリンピックに出場した楢崎選手、野口選手、野中選手を始め、世界で活躍するトップ選手を数多く育てていらっしゃいます。まさにトッププロコーチの伊東さんから、全8回にわたり、小学生から高校生の群馬県スポーツクライミング強化選手が御指導頂けることになりました。

7月11日に第1回の練習会を、「深谷クライミングビレッジ」で行いました。大変暑い中ではありましたが、ボルダーとリード両方の登りを確認して頂きました。い

つも賑やかな選手達も、やや緊張した面持ちで真剣に取り組んでいました。特にリードでは、限界グレードから開始して、計6本を2時間で登る練習が行われ、選手達は体力やグレード、技術の下降具合から自分の弱点を学んだようです。クライミングビレッジ様には、事前に団体利用の告知などご協力いただき、また当日も他の利用者様にはご不便をおかけしたと思います。今後も、群馬県内のジムで練習会を予定しており、ご迷惑をおかけしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

強化選手の皆さんは、多くの関係者の協力で、大変貴重な練習会に参加できていることに感謝し、一生懸命練習して下さい。東京オリンピックでの野中選手、野口選手のメダル獲得の大活躍で、クライミング人気にさらに拍車がかかり、選手を目指す子ども達もますます増えていくと思います。群馬県から世界にはばたく選手が誕生することを期待しています。

(強化選手保護者の周東朋子さん執筆)



ハケ岳横岳

群馬県山岳連盟個人会員募集

自立した登山者を育成し、安全登山の啓蒙に努めます。
活動11回/年、山の勉強会(座学)11回/年、実技登山、他にステップアップ研修会を実施

【2020年度活動実績】

- ・山の勉強会 3回
(ナビゲーション、ロープワーク、地図とコンパス)
- ・実技登山 6回
(歩行技術、ナビゲーション、ロープワーク、レスキュー他)
- ・ステップアップ研修会
ロープワーク(谷川岳マムシ岩でのロープワーク)
※コロナウイルス感染拡大防止のため群馬県で定める警戒度に従うため活動に制限が生じています。

参加資格：自立した登山者を指す方

年会費：群馬県山岳連盟会費(登録料)5,000円/年(10月以降入会は3,000円) その他 実技登山参加費 1,000円/回、山の勉強会参加費 500円/回(教材費)

会員数：56名(男29名、女27名) 2021/07現在

申込・問い合わせ：E-mail:tsubakura2763@gmail.com

(個人会員委員会 根岸 まで)



(有) 山とスキーの店 石井

DreamBOX

伊勢崎市宮子町 3448-2

TEL 0270-21-8025 FAX 0270-21-8026

岳人がめざす自然観察会を

自然保護委員会主管で行われる、群馬県山岳連盟自然観察会兼環境美化運動も新型コロナウイルス感染拡大によって令和2年度・3年度と続けて中止を余儀なくされてしまいました。

私たちの自然観察会は「岳人ならではの観察会」をコンセプトに観察地(山)の選定を行っています。過去には第13回丸岩城址・高ジョッキ山、第14回赤城船ヶ鼻山、第15回榛名三ツ峰山、第16回赤城粕川源流部、第17回赤城東面利平茶屋・鳥居峠(中止)とその山の生い立ち、人や歴史に関わる味わい深い山を選んできました。

孺恋村周辺で候補地探し

最近では、観察会の候補地探しにと会員4名で孺恋村鹿沢より鍋蓋山・角間山を登り旧鹿沢へ降りるルート歩いてみました。

休暇村から直接登るルートで目指しましたが、孺恋地区の台風水害の復旧を待たないと効率の良いルート取りが難しい事が分かりました。

そして直近の8月には私も参加し、先輩委員のガイドで会員4名、孺恋村干俣仁田沢から干俣川・空沢とよく洗われた石の多い沢を歩き、上信鉦山跡地を訪ねてみました。そこには何と巨大なビール瓶のようなシャフトキルン(焼成炉と呼ぶようです)2基が深い森の中に悠然と現れ、採掘当時が蘇り自分がそこにいるかの様な不思議な感覚を覚えました。帰りはそのまま沢を下りて干俣川へ戻り、空沢手前の地図上に名前の無い左から流れ込んで来る小さな沢を遡上しましたが、滑滝や数メートルの滝を楽しむことが出来ました。この小沢は45分程の沢歩きで農道に出るとそのまま車道を駐車地まで戻れるコンパクトながら自然を楽しめるルートでした。しかし沢歩きの経験が全くない参加者を案内するには少々行動時間が延びそうだと思います。



森の中に佇む焼成炉



名の無い小沢の滝

楽しめる観察会を目指して

今後の予定では孺恋村と長野県高山村の県境にある毛無峠から破風岳、土鍋山、そして小串鉦山跡地へと、さらにその先にある浦倉鉦山跡地までも歩いてみようかと相談しています。

最後に、一般登山者の興味が湧き、参加し易い駐車スペースの確保、ルートの難易度などを考え、来てよかったと見える、楽しめるような山の自然観察会を計画していきたいと考えています。



株式会社エーアールアイ
東京都練馬区上石神井 3-18-1
TEL 03-5991-4638

第76回国民体育大会関東ブロック大会

2021年6月19日・20日と、第76回国民体育大会関東ブロック大会スポーツライミング競技が、栃木県壬生町壬生総合運動場体育館にて行われました。

群馬県からは

成年女子（柘植求監督）	伊藤嘉奈子選手／武井綾音選手
少年男子（赤松久宇監督）	巳野樹庵選手／中村怜旺矢選手
少年女子（柳澤順監督）	柳澤葵選手／塚越優衣選手

の6名が選出され、同大会に出場しました。

群馬県の他、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県・栃木県・山梨県が参加し、1都7県で国体本大会出場通過の3枠をかけて競い合いました。なお、成年男子は47都道府県が出場できるので関東ブロックの出場はありません。

大会1日目は、成年女子がボルダリング競技、少年男子と少年女子はリード競技を行いました。

成年女子ボルダリング競技は、東京都が平野夏海選手と張替夢乃選手の圧巻の登りで1位。次いで2位が神奈川県、3位が埼玉県となりました。

少年男子リード競技は、その将来が有望視されている千葉県の安楽宙斗選手が安定の完登。同県村下善乙選手も共に完登で1位。2位は東京都、3位が埼玉県となりました。

少年女子リード競技は、茨城県が、すでに数々の国際大会に参加し、近年特にその目覚ましい活躍で注目されている森秋彩選手の余裕のある登りで完登、菊池野音選手とのペアで1位。2位が東京都、3位は千葉県となりました。

この日の群馬県の成績は、成年女子が7都県中（栃木県の成年女子の参加がなかった為）6位、少年男子が8都県中7位、少年女子が8都県中6位となりました。

大会2日目は、成年女子がリード競技、少年男子と少年女子はボルダリング競技を行いました。

成年女子リード競技は、前日のボルダリング競技に続き東京都が1位。2位も前日同様の神奈川県、3位は千葉県となりました。

少年男子ボルダリング競技も、前日同様に千葉県が1位。2位は山田航大選手の活躍により埼玉県が2位。3位は栃木県となりました。

少年女子ボルダリング競技も前日と同じく1位は茨城県。2位に神奈川県、3位は東京都となりました。

群馬県の成績は成年女子、少年男子&女子共に7位でした。

以上2日間の結果をもって、総合成績により国体本選通過は

成年女子	少年男子	少年女子
1位 東京都	1位 千葉県	1位 茨城県
2位 神奈川県	2位 埼玉県	2位 東京都
3位 千葉県	3位 東京都	3位 神奈川県

という結果となりました。

群馬県は成年女子が同率6位。少年男子は7位、少年女子は同率6位で、残念ながら関東ブロック通過とはならず、今大会を終えました。近年、スポーツライミングはオリンピック種目にもなったこともあり、その注目度から専

用ジムなど施設の増加と共に競技人口も増えました。その中で、今大会の出場選手の多くがその名を聞いたことのある選手達でした。しかしながら、やはりコロナ禍での開催となったこともあってか、各県の仕上がり方に差が合ったように見え、さらにそれは選手個々の単位でもあったようにも見えました。特に少年男子と少年女子は、身体的な成長期であり、さらに受験や進学などの変化があった上に、新型コロナの影響で生活模様の変化まで加わり、それら全てが大きく影響しているように感じました。とはいえ、選手達の活動制限も各都道府県によって、対応が異なっただろう中、各措置等が厳しかったはずの東京都や神奈川県、埼玉県や千葉県が、例年通り順当に本選へと進出していることから、各県の選手育成の環境、設備や整備の差が大きく出たように感じた大会でもありました。

そして今大会を経た事で、我が県の弱点もハッキリと浮き彫りになったように思います。このところ、各クライミングジムのスクールの他、群馬県スポーツ協会の企画による「ぐんまスーパーキッズプロジェクト」などにより、選手育成が活気付いてきました。これからはその指導方針や育成環境など、運営側の対応がより一層重要になってくるように感じます。

最後に、来年度にはこの新型コロナによる制限等も落ち着き、例年通りとはいかなくとも、参加選手がその能力を遺憾無く発揮出来ることを強く願います。

※本戦となる「三重とこわか国体」は中止となりました。

スーパーキッズプロジェクト スポーツクライミング 三期生 認定式

スーパーキッズプロジェクト選考会において30名以上の応募者の中から選考された11名の認定書を、6月29日に高崎のクライミングジム「GooFee」において行いました。プロジェクトスタッフと小池事務局長同席のもと、土屋副会長から認定証をキッズ一人ずつ渡しました。

新しく加入した三期生は、既にボルダリングジムなどで経験している子も多く、パフォーマンスがかなり高い印象です。群馬ではボルダリングの他リードクライミングも取り入れており、特に経験をする機会が少ないリードクライミングを中心に指導をしていくこととなります。

キッズは、認定式の後、ストレッチや準備体操の後、さっそくボルダリングに取り組みました。また、クライミングの経験が初めての子については丁寧に指導し、初日でもかなりのコツを掴んだ様子で今後に期待がもてました。

保護者の皆さんには、今後の活動や必要な道具等を準備していただくよう赤松委員長から説明をし、十分にご理解いただきました。

本年度で3年目となり、キッズメンバーは3学年で30名になりますが、これらのメンバーが切磋琢磨して将来活躍することを楽しみに感じています。



認定証を受けるキッズ三期生



さっそくユニフォームを着たキッズたち



入念にストレッチして準備するキッズ三期生たち

群馬の山

3

ハッ場ふるさと館からの往復 王城山

難易度 A / 体力度 2

道の駅ハッ場ふるさと館→王城山神社→王城山 (往復)

2万5千分の1地形図「長野原」

「ぐんま百名山」の一つに数えられる王城山は、地元では古くから「みこしろやま」と呼び、山頂から西方にやや下がったところに王城山神社の奥宮が祭られ、古くから信仰の山として登られていた。



国道 145 号坪井大橋から左に高間山、右に王城山

麓の王城山神社から山頂間は、林道や登山道が整備され、途中には小さい「合目」の石標が設置されている。奥宮から高間山までは往復 3 時間程度で健脚向きであるが、高間山登山口までは車で入れる。両山とも雑木林が多く、新緑や紅葉時季に登るのに適している。 (『群馬の山歩きベストガイド』から)

「群馬の山歩きベストガイド

安心して歩ける 126 コース」



定価 1400 円 + 税
ISBN978-4-86352-249-7

群馬県山岳連盟と日本山岳会群馬支部、群馬県勤労者山岳連盟による群馬県山岳団体連絡協議会の編集で、上毛新聞社から発売中。お求めは岳連総務委員会へ。県内外の書店でも好評販売中。

コラム [嶺 呂] - 02

会津への道に自然保護の歴史を訪ねて

理事長 佐藤光由

日本山岳会では全国で古道調査を行う。私の担当は沼田会津街道。戸倉から一ノ瀬、尾瀬沼湖畔を通過して御池、桧枝岐のルートだ。戊辰戦争時は尾瀬大江湿原に土塁を作り、福島軍の兵士が戸倉に攻め入る事もあった。県境で車が通る道がないのは全国でも群馬と福島の県境のみらしい。1960年代ここに自動車道を作る計画があった。群馬県、福島県とも乗り気で1971年には一ノ瀬の上まで工事が進んでいた。

尾瀬の自然を守るためこの道路建設に反対する運動はすでに始まっていて、大きな話題となっていた。その1971年に環境庁が発足。7月に長蔵小屋の平野長靖氏が大石環境庁長官宅を訪問し直訴する。大石長官は至仏山に登り尾

瀬を横断する。尾瀬の自然に感銘を受けた大石長官は3県知事と会談して工事の変更を要請。12月には工事が中止となった。後世に伝わる「大石裁定」だ。日本での自然保護運動の大きな成果の一つとなった。この裁定から今年で50年となる。そんなことを想いながら沼田会津街道を歩いてきたい。

群馬では沼田会津街道のほか、赤城山信仰の道、榛名山信仰の道、そして上州から越後への道が第1次として選ばれ、群馬支部が隣接する支部や本部と協力して取り組むこととなりますが、みなさまのお知恵やお力をお願いする場面もあるかと思えます。その際はよろしく願います。

後編 記集

今号の編集後記も「コロナ禍」について。早くこのトンネルから抜け出さないものかと思えます。イベントも中止、会議も書面という中、なんとか山行は感染防止を図りつつ続けたいと思っていますが、「山は逃げない」という言葉もあります。こんな時は思い出の山、これから登りたい山の地図を取り出して想像たくましくしてみるのも良いのかもしれないと思う昨今です。(根井)

弱電工事承ります。

電話工事、ネットワーク工事及びセットアップ(LAN及びWi-Fi環境)、

TVアンテナ及びケーブル工事

パソコンで悩んでいませんか?

ソフトの使い方はわかりませんが、ハードの悩みは相談してください。

(難しい故障の場合は外注となります。)

ミヤマネットワーク

代表 佐藤光由

群馬県前橋市高花台 1-6-5

電話 027-269-1143 携帯 090-8842-2158